

講義名	生活金融論			授業形態	
担当教員	小笠原 宏		開講期・曜日・時間	後期 火曜日 3時限	
	単位数	2	履修開始年次	3年生	ナンバリング・コード ECN382

主題と概要

より実り多い経済生活のためにも個人（家計）の資産運用の必要性は高まっている。合理的な「投資行動」のためには金融証券市場を念頭において、何に投資をするべきかを考察し判断するための分析力と判断力を養うことが重要である。しかし各種金融商品は複雑かつ多様化しており、その中での「最適」選択は難しい。それ故に、効率的な資金運用（投資）を行うために基本的な理論及び手法を学ぶ、高度化し、複雑化した金融商品及び、金融市場に関する解説と動向を、タイムリーな事件、ニュースから改めて解説していく。多様な視点も考慮に入れて資産投資運用法を自ら構築できるようにすることも解説していく。多様なリスクの現実的な把握と対処法について議論、解説する。

到達目標

(1)生活者の視点と必要性から、金融市場の意義と役割、その活用法を学ぶことができるようになる。(2)合理的な「投資行動」を自ら考え実行するために役立つ金融証券市場の知識、リスク概念など及び計量的分析アプローチ（記述統計学及び確率論など）を学ぶことができるようになるとともに、現実社会での活用法を理解できるようにする。(3)投資対象の適切な選択を含め、当事者としての分析力と判断力を発揮することができるようになる。(4)保険、年金などの生活者にとって重要な金融商品の理解を深めることができるようになる。(5)その他多様な金融商品に関する知識や情報を理解し、現実の投資行動等に活かすことができるようになる。

提出課題

授業理解度、進捗に応じて関連する小課題を提示する。有志はレポートなど提出があれば加点する。全体で行う実験、演習も必要に応じて適宜実施。その場で自ら実済するか、各自授業後に実施して、結果などを提出してもらう方式などを多様な方式を考えている。質問や意見他、従来の出席票裏面の自由コメント欄のように、メールおよびブログへの書き込みなどを積極的に行ってほしい。生産的なものは、加点方式で考慮する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義内で展開して解説及びブログを通じて補足的説明を行う。毎回講義内容の要約など、ノートづくりを推奨、ネット辞書などの活用による自習、補修を推奨している。

評価の基準

基本対面集講義授業。個別の出席カウントは時間的な配慮をして集計する。（過剰な対応や集計困難なつもりはない。状況に応じて調整）。小課題の提出をもって、代替的に判断するなど。集計法は考慮する予定。進捗度、理解度に応じて、最終試験代わりまとめ的な課題レポートを課すなどを過去にはしてきた。試験だけでない評価法も加点方式として導入予定。コメントや質問など、授業参加度に關するものは、加点評価するつもり。内容的にも有用なものは、講義で補足および解説するので、積極的参加と、自力によるリサーチによる情報収集、知識集積の姿勢を受講生は持つことが大事である。

履修にあたっての注意・助言他

金融、株式市場並びに投資に興味を持つようにして下さい。『金儲け』につながるような情報や機会に常にアンテナを張って欲しい。定番定説的なことを説明するような講義でなく、ここでもし聞けない中身の講義をしてきました。新しい視点、アプローチを習得するような講義を自薦します。他、全体的な共通価値事項として、「新型コロナウイルス感染症の状況によりラバックスの修正がある」可能性も認識しておいて下さい。講義は200mを利用した教室全部白板投影による講義形式の予定。無謀強制的対面集講義。対面集講義形式の試験などは行わない予定。別形式での同等の教育効果を考慮した授業形式を案議する。ネット、講義内容をビデオ録画して配信予定。復習他に活用して欲しい。特に、「リスク」「保険」「年金」「投資信託」など生活者にとって単近かつ重要な項目の解説と理解に重点をおいて講義している。

教科書

・特に定めなし。

参考図書

その他

証券市場、金融市場、その仕組みなどについて解説してある一般入門書の種類を積極的に読んで見てほしい。投資指商の種類の本や資料などは殆ど立派でないで進めない。日経ヴェリタスなどの金融専門新聞などをさっと見る方が参考になる。その他適宜必要に応じて授業中に参照及び提示する。適宜成立するものは、印刷して配布あるいは、ファイルで配布。AVコンテンツなどは、実際に見たり聞いたりしてもらう。（事後配布や事前配布は無理）。ブログを活用した、授業ログ（板書撮影ファイル(pdf)、音声ファイル(mp3)を復習用にアップして参照にしている。特に、復習及び試験対策の際には活用して欲しい。（授業内で詳しく案内する）

授業計画

- 1投資と投機：生活者の消費行動と投資行動の違いに関する議論
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 2投資と投機：生活者視点からの投資の成功のための原則と興義
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 3リスク概念：リスクプロファイルとは何か他
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 4リスク概念：生活者視点からの投資戦略（対処法概説）
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 5金融市場の基本的機能について。基本理論
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 6金融市場の基本的機能について。応用実践
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 7証券市場の基本的役割。基本理論
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 8証券市場の基本的役割。応用実践
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 9保険の仕組みと機能（生命保険、損害保険他）
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 10年金制度の仕組みと理念、考え方
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 11ポートフォリオ理論の基本的考え方（分散投資と分割投資の違い）
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 12ポートフォリオ理論の応用と実践
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 13不動産投資についての理解と実践
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 14無形資産投資とは何か（特許、アイデアなど多様な投資対象）
復習として講義録画（ネット配信予定）を必要に応じて、自作ノートの作成、編集、改定。講義で取り上げた用語などの検索、リストなどの作成（途中経過報告などを、出席票裏面、メールなどで適宜報告。予習としては関連項目や事項、新聞などの事例検索始めそれ以上の自主的なリサーチ、学習、考察などとして講義出席を奨励。復習と事前準備で合計240分。
- 15高度な金融派生市場の役割（デリバティブ、FX、CDSなど）/リテイクなど。まとめ総括。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

生活者の視点から、経済のインフラとしてのファイナンス（金融、証券等）市場及び仕組みの積極的活用を目指して、知識の拡充と実践力の向上を目指す。従来、既存の制度や仕組みの本質を理解した上で、変化する時代に入った変革の方向性を考え、積極的に提案できることを目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

板書撮影など、講義記録を毎回発信予定。講義内容に関する質問他を歓迎。適宜解説。出席票裏面の自由コメント欄の活用。

実務経験の有無及び活用

外国銀行及びシンクタンク勤務経験があり、実業界、実社会での要請や必要要件の理解認識を持っている。本当の「実学」教育訓練の実践を目指し、実行力、思考力の醸成、育成を目指している。

備考
